Nagasaki Higashi
Global Report
International Department

ＧＳⅡ　第１２号

January 17, 2019

ＧＳⅡ中間発表会終わる！

１２月１８日（火）、本校にてＧＳⅡ中間発表会が行われました。平和班の発表には長崎大学経済学部井田洋子先生、医療班の発表には長崎女子短期大学の玉記雷太先生に参加していただき助言をいただきました。各班のテーマは次の通りです。優秀班には平和４班・５班、水1班・2班、医療2班・4班が選ばれました。優秀班は、2月の課題研究発表会でプレゼンテーションを行います。残念ながら、今回選に漏れた班はポスターセッションを行います。

国際平和の実現／水環境の改善			医療支援の推進		
平1	班長(岩永) 書記(清川)	補助教材を用いた非核教育の方法～原爆に関する認識の差を埋めるために～	医1	班長(音成) 書記(波路)	ボウフラを”ろ紙”で駆除しよう！～Low cost, Low hardles, Low impact on the environment～
平2	班長(草野) 書記(植野)	「アクティブ・ラーニング」で長崎の平和教育を向上させよう	医2	班長(葉山) 書記(方)	そうだったのか！未来を変えるタバコ講座
平3	班長(山中) 書記(江濱)	マレーシアの経済成長を助長する方法の調査	医3	班長(平田) 書記(梅澤)	毒素を濃縮したプラスチックが海と人間を汚染する
平4	班長(松尾) 書記(重山)	災害に厳しく、外国人にやさしく in ナガサキ	医4	班長(田上) 書記(藤原)	避難所での衛生の促進～ハエの忌避～
平5	班長(八並) 書記(鈴木)	全ての高齢者が尊厳を保って生きている世界をつくるには？	医5	班長(竹内) 書記(荒木)	災害時の障がい者支援について
水1	班長(村田) 書記(金出)	海洋ゴミ問題への人々の意識を教育的アプローチから高めることが出来るか。	医6	班長(永瀬) 書記(馬場)	東南アジアにおける災害被災者の心理的ストレスを自然療法の応用によって軽減できるか
水2	班長(平山) 書記(松本)	立山を災害から守る	医7	班長(池田) 書記(金柿)	病院に行くか、行かないか？よし。ボディートークしよう。
水3	班長(田浦) 書記(永田)	水への意識改革によって感染症拡大を防ぐことはできるか	医8	班長(川村) 書記(入江)	マダニからの病気の感染をレモンアルコールで予防する
水4	班長(森重) 書記(松田)	ハノイをゼロエミッションシティに～下水汚泥の利用可能性～			

【優秀班からのコメント（抜粋）】

審査の様子→

〇私たちは長崎に住む外国人の方のために防災ガイドラインを作っています。これまでに、既存のガイドラインを手に入れて内容の検討をしたり、持ち運びやすくするために紙のサイズを工夫したりしました。（平和４班）
〇どう自分たちの研究をまとめあげるかと悩みながらの中間発表会で苦労の連続でしたが、最後には優秀賞をいただくことができ嬉しい気持ちでいっぱいです。（平和５班）
〇今回の中間発表会は出来る限りの準備をして臨むことが出来たが、研究面でも発表面でもまだ多くの反省点があるので班員と協力してそれらを改善して本発表をより良いものにしたい。（水１班）
〇時間が限られている中、班員全員で協力してよい発表を作ることが出来た。この発表会で得た経験を 3 月のSGH 甲子園につなげていきたい。（水２班）
〇前日の夜も、班員全員で我々の研究の何をどう伝えるか試行錯誤し、合点のいくまで話し合い、内容を考えた。当日は、聴衆を意識したプレゼンができた一方、英語で伝えることの難しさも痛感した。（医療２班）
〇論文とプレゼンの準備には早くから取り掛かり、準備は万全のつもりだった。しかし、本番を迎えると自分たちの考察の甘さや練習不足に気付かされた。（医療４班）